

コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領 申請書記載例

○コンクリート塊等処理指定工場登録

・ 建設リサイクル資材認定申請に係る関係書類……………5-28

○再生骨材等……………5-29

コンクリート塊等処理指定工場登録・建設リサイクル資材認定 申請に係る関係書類

	新規 申請
* 必須書類	
1 コンクリート塊等処理指定工場登録・建設リサイクル資材認定申請書 (第1号様式)	1
2 建設リサイクル資材の供給区域の申告書 (第1号様式別紙2)	2
3 法人の登記事項証明書の写し (申請日から起算して3箇月以内のもの。)	3
4 その他添付書類等 (会社案内 申請資材に係る広報資料等)	4
5 再生資源の含有率の根拠となる計算式等の資料	5
6 コンクリート塊等受入・建設リサイクル資材販売状況報告書 (第5号様式)	6
7 公的試験機関が行う品質・性能に係る試験結果 (申請日前3箇月以内に行ったもの。)	7
8 廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処分業許可証の写し及び産業廃棄物処理 施設設置許可証の写し	8
9 工場の全体配置図及び写真、再生資源及び申請資材の保管場所、申請資 材の製造工程の概要、プラント設備、重機械等の処理能力及び数量等の資料	9
10 夜間の搬入、搬出についての付近住民への説明結果報告書	10
11 品質管理体制に係る資料 (社内体制書面等)	11
* 以下については該当する場合提出が必要です。	
12 申請者以外が製造した再生資源 (JIS A 5015 道路用鉄鋼スラグ及び JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した道路用 溶融スラグに限る。) を用いた資材は、「再生資源納入証明書 (第1号様式 別紙1)」	
13 I S O 9001 認証取得工場においては、認証の写し及び認証の範囲を示す 書類の写し	
14 その他公的団体の認証評定取得工場においては、証明書類の写し	

コンクリート塊等処理指定工場登録・建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領 5 条第 1 項の規定により、（指定工場の登録・建設リサイクル資材の認定）を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名	再生骨材等			
	申請資材名	石材	石材	石材	石材
	寸法・規格等	再生クラッシャーラン RC-40	再生粒度調整碎石 RM-40	再生粒度調整碎石 RM-30	再生粒度調整碎石 MM-40
評価基準の適合状況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 () ☒ c 石綿を原料としていない。		
	再生資源	再生資源の含有率	100%（別紙のとおり）		
		再生資源の内容	☒ コンクリート塊 ☒ アスファルトコンクリート塊 ☒ 路盤廃材 ☒ その他（JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化した道路用熔融スラグ）		
		コンクリート塊等の処理方法	破碎し寸法、規格別に分級		
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 () ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 ()		
	品質管理	工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	
公的規格等の取得状況			☐ J I S の認証を取得している。 () ☐ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 () ☐ その他 ()		
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇			
環境負荷		☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。			

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 7 条第 5 項第 4 号イからヌまで及び第 14 条第 5 項第 2 号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法、規格等、認定機関及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒〇〇〇-〇〇〇〇	
	申請者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名（法人にあっては、名称）	〇〇株式会社	
	担当所属	名 称	〇〇課〇〇〇係
		電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
		F A X 番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、() 内に試験結果（原則として、申請日から起算して 3 箇月以内に公的試験機関で行ったもの。）や適合する規格等を記入してください。
- 2 「再生資源の内容」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。
- 3 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、() 内に試験結果（原則として、申請日から起算して 3 箇月以内に公的試験機関で行ったもの。）や適合する規格等を記入してください。
- 4 「工場」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請者以外は、() 内に認定資材名、寸法、規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 申請者は正本及びその写しを提出してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	一般廃棄物
再生資源の原料の発生場所	各自治体の清掃工場
再生資源の原料の処理方法	一般廃棄物焼却灰を溶融
再生資源の内容	JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した道路用溶融スラグ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第 8 に定める評価基準のうち、表 2-1 に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
石材	再生クラッシャーラン RC-40	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
石材	再生粒度調整碎石 RM-40	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
石材	再生粒度調整碎石 RM-30	☒ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 ()
石材	再生粒度調整碎石 MM-40	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

(別添参考様式)

令和 年 月 日

再生資源含有率表

会社名
住所
電話番号

(法人にあつては、主たる事務
所の所在地、名称及び代表者
の氏名)

資材名	再生資源①		再生資源以外の資源②	
	含有率	%	含有率	%

再生資源含有率表

令和〇〇年〇月〇日

会社名 〇〇株式会社〇〇支店

住所 〇〇県〇〇市〇〇

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

資材名	再生資源①		再生資源以外の資源②	
	含有率	100 %	含有率	0 %
RC-40	コンクリート塊			
	アスファルトコンクリート塊			
	路盤廃材			

コンクリート塊等受入・建設リサイクル資材販売状況報告書

登録・認定事業者名

〇〇株式会社
〇〇工場

作成責任者
連絡先電話

〇〇 〇〇
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

(令和〇 年度分) (単位:m3)		
	受入量	左における受入量のうち県土整備局発注工事からの受入分
コンクリート塊	〇〇	△△
アスファルト・コンクリート塊	〇〇	△△
路盤廃材	〇〇	△△
総 計	〇〇	△△

(令和〇 年度分) (単位：m3)				
	認定番号	認定期間	販売量	左における販売量のうち県土整備局発注工事への販売分
再生クラッシャラン RC-40	記載なし	記載なし	〇〇	△△
再生粒度調整砕石 RM-40	記載なし	記載なし	〇〇	△△
再生粒度調整砕石 RM-30	記載なし	記載なし	〇〇	△△
総 計			〇〇	△△

- 備考 1 再生砂RC-10は記入しないこと。
- 2 再生資源にJIS A 5015 道路用鉄鋼スラグ又はJIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化した道路用熔融スラグを用いた建設リサイクル資材については、括弧内に次の区分により「呼び名」を記入し、「呼び名」毎に販売実績を記入すること。

再生資源	種 類	呼び名
JIS A 5015 道路用鉄鋼スラグ	粒度調整鉄鋼スラグ	MS－40 MS－30
	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	HMS－40 HMS－30
	クラッシャラン鉄鋼スラグ	CS－40
JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を熔融固化した道路用熔融スラグ	粒度調整熔融スラグ	MM－40 MM－30
	クラッシャラン熔融スラグ	CM－40